

## 平成26年度第2回沖縄県がん診療連携協議会・緩和ケア部会議事要旨

[日時]平成26年7月29日(火) 19:00～21:00

[場所] 琉球大学医学部附属病院 がんセンター

[参加者]13名:垣花真紀子(沖縄県立宮古病院)、笹良剛史(南部病院)、伊藤昌徳(株式会社イエンズプランニング・ぼたん薬局)、増田昌人(琉大病院)、新屋洋平(沖縄県立中部病院)、島袋恭子(那覇市立病院)、尾崎信弘(沖縄県立八重山病院)、親泊美香(ちばなクリニック)、笠原大吾(福寿薬局)、野村寛徳(北部地区医師会病院)、栗山登至(サマリヤ人病院) 福地 泉(アドベントリストメディカルセンター)、崎枝久美(アドベントリストメディカルセンター)

[欠席者]5名:足立源樹(那覇市立病院)、棚原陽子(琉大病院)、上田真(沖縄県立中部病院)、喜納美津男(きなクリニック)、大湾勤子(国立病院機構沖縄病院)

[陪席者]1名:安里千恵美(琉大病院)

### <報告事項>

#### 1. 平成26年度第1回緩和ケア部会議事要旨

栗山委員より、資料1に基づき、「平成26年度第1回沖縄県がん診療連携協議会・緩和ケア部会」の議事要旨が報告された。

#### 2. 琉大主催の緩和ケア研修会について

増田委員より、資料2に基づき、琉大主催の緩和ケア研修会について報告された。

7月6日(日)、13日(日)に開催し、受講者は医師32名、その他が4名であった。がん診療連携拠点病院の指針に従い、研修医にも参加を依頼し参加してもらった。課題としては、ロールプレイで研修医が固まったグループでは、スムーズに進行できなかったため、研修医のいるグループには経験のある医師を配置するなど工夫する必要があることが情報共有された。

#### 3. 部会委員の新規加入について

栗山委員より、資料3に基づき新規緩和ケア部会委員について報告があった。患者関係委員(看護師)として、アドベントリストメディカルセンター崎枝久美さんと沖縄県立中部病院から新屋洋平先生が新委員となった。

#### 4. その他

今回の緩和ケア部会の日程は平成26年10月7日19:00からの予定との報告があった。

### <協議事項>

#### 1. 7つの専門部会の在り方について

増田委員より、沖縄県がん診療連携協議会の下部組織の7つの専門部会の役割について、沖縄県がん対策推進基本計画ができて2年目になったことから、それに合わせた緩和ケア部会の所掌範囲を検討したいとの提案があった。

##### (1) 国のがん対策推進基本計画

「第2-2. がんと診断された時からの緩和ケアの推進」「第3-2. 全てのがん患者とその家族の苦

痛の軽減と療養生活の質の維持向上」「第 4-1- (3). がんと診断された時からの緩和ケアの推進」の 3 つは主として担当することが承認された。

「第 3-3. がんになっても安心して暮らせる社会の構築」「第 4-8. がんの教育・普及啓発」「第 4-1-(1). がん医療に携わる専門的な医療従事者の育成」「第 4-1-(4). 地域の医療・介護サービス提供体制の構築」の 4 つは、緩和領域の専門家の育成、命の教育の実施など緩和領域に限りサブとして担当することが承認された。

#### (2) 第 2 次沖縄県がん対策推進計画

「4-(4)-②. 緩和ケアの推進」は主として担当することが承認された。

「4-(3). がんの教育・普及啓発」「4-(4)-④-イ. 放射線療法、化学療法の充実とチーム医療の推進」「4-(4)-④-ウ. 地域連携クリティカルパス」「4-(4)-③. 在宅医療の推進」「4-(4)-⑥-(イ). 情報提供体制」「4-(6). 離島及びへき地におけるがん医療の確保及びがん患者等関係者への支援」の 6 つは、緩和領域に限りサブとして担当することが承認された。

#### (3) 沖縄県がん対策推進計画（沖縄県がん診療連携協議会案）

「1-(3). がんと診断された時からの緩和ケアの推進」は、主として担当することが承認された。

「1-(1). 放射線療法、化学療法、手術療法の更なる充実とチーム医療の推進」「1-(2). がん医療に携わる専門的な医療従事者の育成」「1-(4). 地域の医療・介護サービス提供体制の構築・在宅医療」「2.がん医療に関する相談支援と情報提供」「8.がんの教育・普及啓発」「10.離島・へき地対策」の 6 つは、緩和領域に限りサブとして担当することが承認された。

## 2. ロジックモデルの見直しについて

年間事業計画のアウトカム目標の中に在宅に関する目標として「アウトカム目標 6」を追加するかどうか検討した。参考データとして、在宅に関する退院前カンファレスの件数（年間）は、那覇市立病院 17 件、浦添総合病院 18 件、ハートライフ病院 14 件であった。「アウトカム目標 6」に、「在宅に関する退院前カンファレスをした対象患者数（のべ）の現況調査を実施し、2 倍に増える」を加えることが承認された。

## 3. 緩和ケア研修会修了者を、患者とその家族に対してわかりやすく情報提供することについて

修了者の広報の方法として、正面玄関にポスター、外来病棟にポスター、配布するチラシ、Web サイトに載せる、バッジなどが挙げられる。ポスターやチラシ、Web サイトに関しては各施設で進めてもらい、修了者が付ける全県統一デザインのバッジの作成について緩和ケア部会で進めていくことが承認された。